



上町中学校



- 所在地 中央区上本町西3丁目2番30号
- 電話番号 06-6762-6556
- FAX 06-6765-3169
- 校長名 松井 信次
- 標準服 有(男・女、夏服・冬服)
- HP アドレス

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j552123>



運営に関する計画【中期目標】

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 平成29年度～令和3年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年95%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において不登校生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 被災地や被災者の方々との交流や地域との合同防災訓練などを基盤とした防災教育を積極的に進め、命を守り、地域に貢献できる道徳心・社会性を育成し、学校評価(生徒用)アンケートの「命や人権の尊さ、互いを認め合う等を考える機会がある。」に肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。
- 学校図書館の環境整備を進め、読書活動・調べ学習をさらに活性化させ、本・文章を読む力を向上させ、基礎学力の向上を図るとともに、生涯学習につながる土台作りも目指し、図書館来館者数・貸出総冊数を毎年、前年度より上回らせる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 全国学力・学習状況調査で全国平均を毎年上回ると同時に、学校評価(生徒用)アンケートにおける「どの授業も集中して取り組んでいる。」の項目に対する肯定的な回答の割合を90%以上にする。
- ICTを活用した教育の環境整備を行い、教職員の中でその活用を広め、学校評価(保護者用)アンケートにおける「教職員は学習への興味・関心を高める指導方法の工夫を行っている。」に対する肯定的な回答の割合を80%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目において、男女とも全国平均を上回る種目数を6種目以上にする。

【その他】

- 本校生徒たちのために全教職員が支援及び協力し足並みをそろえて、プロ集団へと成長する。目安として学校評価(教職員用)アンケートの「指導力向上のための相互授業参観や研究授業、意見交換が行われている。」に対する肯定的な回答の割合を90%以上にする。

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果

【平均正答率(%)】

国語	数学	英語
73	63	61

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

【概要】

令和元年度は英語についても調査があった。

正答率の大阪市比 国語・・・+3 数学・・・+6 英語・・・+7

正答率の全国比 国語・・・+0.2 数学・・・+3.2 英語・・・+5.0

・国語、数学、英語 すべての教科において平均正答率は大阪市、全国平均を上回っている。平均無回答率もすべて大阪市平均、全国平均を下回っている。

【成果と課題、アクションプラン】

1. 「人間尊重の精神を基盤とし、生きる力を育み、豊かな心を育てる」ことを学校教育の目標に掲げ、様々な教育活動を進める。

2. 放課後や長期休業中の学力補充や家庭学習の定着化、習熟度別少人数授業の充実、小中一貫した教育の推進などに取り組む。

以上のことを踏まえ教育活動を進めてきたが、学力の2極化が見られることも事実であり、よりきめ細かな指導が必要と考える。

また、自分の考えを発表したり、生徒間で話し合う場面を多く取り入れたり、授業形態をさらに確立していくために、各教科、領域での指導方法の研究を継続して進めていく。

Osaka Metro 谷町線・鶴見緑地線谷町六丁目駅③出口 南東 400m



令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

【平均値】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mSR
男子	30.09	25.58	38.38	50.62	84.26
女子	25.90	22.51	43.25	48.48	53.90

	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力点合計
男子	8.20	197.62	23.68	41.16
女子	9.14	166.86	13.21	49.74

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

【概要】

8種目のうち、男子で4種目(握力・シャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ)、女子で3種目(握力・反復横跳び・ハンドボール投げ)において全国平均と大阪市平均を上回った。また男子の体力合計点は、全国には及ばなかったが、大阪市平均は上回る結果となった。女子の体力合計点では、前回調査時の3年生の女子の結果が全国・大阪市平均を上回っていたが、令和元年度調査では全国、大阪市ともに下回った。

令和元年度の運動習慣等の調査を検証すると、男子は「運動やスポーツをすることが好きですか」の質問に対して肯定的な回答が、全国、大阪市ともに上回った。女子は全国、大阪市ともに下回った。運動に対する興味、関心が高いと結果も高くなる傾向がある。

【成果と課題、アクションプラン】

全国平均に近づけていくために体育の授業でのトレーニング方法であったり、普段運動する習慣の構築であったり、小学校との連携し9年間の取組など、さらに改善して地域全体の体力向上をめざしていくことが必要であると考えられる。

また、部活動の活動時間や日数が制限される現状を踏まえ、短時間で効果的な練習方法の考案と実践が必要である。

卒業後の主な進路

卒業生数 平成30年度 100人 令和元年度 92人 令和2年度 106人

【公立高校・高等専門学校】

旭・芦間・阿倍野(6)・生野(3)・生野支援・市岡・今宮・扇町総合(4)・大阪市立・大阪ビシ 初カワテ(3)・大阪府立大工業高専・大手前(6)・北野・柴島・高津(9)・港南造形・桜宮(6)・清水谷(11)・水都国際・住吉(7)・成城(4)・摂津・大正白稜(3)・第二工芸・中央・鶴見商業・天王寺・長吉・なにわ高等支援・西(3)・花園(3)・汎愛(3)・阪南(3)・東(6)・東淀川・東淀川支援・福井・布施(4)・みどり清朋・港(5)・南・都島工業・桃谷・守口東・八尾・八尾北・夕陽丘(6)・淀商業

【私立高校・専修学校・専門学校】

アサンプション国際・あべの翔学・上宮(20)・追手門学院大手前・大阪(3)・大阪偕星(5)・大阪学院大(5)・大阪学芸(5)・大阪薫英女学院・大阪国際滝井・大阪産業大学(9)・大阪商業大学・大阪女学院・大阪情報コンピュータ・大阪信愛学院・大阪電気通信大学(3)・大阪桐蔭・大阪夕陽丘学園(17)・大阪YMC A国際・関西イカ-パヨル・関西大学第一(5)・関西大学北陽・近畿大学附属(5)・近畿大学工業高専・クラーク高等学院・建国・興園(9)・神戸動植物環境専門学校・好文学園女子・向陽台・呉港・金光八尾・堺リベラル・四天王寺・常翔学園(7)・城星学園・昇陽・清明学院・中京学院大学附属中京・智辯学園和歌山・天王寺学館・天理・東朋高等・東洋学園・東海大学附属大阪仰星・同志社国際・西大和学園・羽衣学園・浪速・バンタン高等学院・阪南大学・益田東・箕面学園・桃山学院(3)・ブルー学院・明星・八洲学園・履正社・ルネ大阪・YMCA学院

※過去3年間のすべての進学先を掲載しているが、3年間の累計が3人以上の学校については、人数を()に内の数字で表記している。

地域に誇れる学び舎 地域とともに

『確かな学力』＝基礎基本の着実な定着＝

本校では、基礎学力の定着と自学自習力の向上を授業の目標として、各教科で指導法の工夫や少人数授業・習熟度別授業・TT(チームティーチング)などに取り組んでいます。また、授業のみならず、放課後の補充学習やテスト前学習会など、自ら学習する機会を通して学力向上を目指しています。



テスト前学習会の様子

『感動を呼ぶ学校行事』＝仲間と一緒に＝

学年クラス対抗による体育大会、学年劇や全員合唱を柱とした文化活動発表会をはじめ、信州方面を舞台に自然体験を行う修学旅行、そして、中央聴覚支援学校との交流活動、車いす等の福祉体験学習、大阪城やピースおおさかを活用した平和学習などの人権学習等、学校・学年が一体となり取り組む行事が数多くあります。それぞれに特色があり、子どもたちの豊かな感性を育み、保護者や地域に大きな感動を毎回与える行事となっています。



修学旅行自然体験

『可能性を伸ばす部活動』＝挨拶と礼儀を学ぶ＝

6つの運動部と4つの文化部が活動しています。顧問の指導のもと、上級生と下級生が力を合わせ、挨拶と礼儀を重んじながら、毎日汗を流して頑張っています。

自分の好きな分野で熱心に取り組む部活動は、チャレンジすること、友人関係を充実させることに結びつき、さらに有意義な学校生活を送ることにつながります。その成果は各大会や発表会、そして、校内の行事で発揮され、自分たちの可能性を尚一層広げることになります。



部活動の様子